

広報 かなた

かんだう・なかよし・だいすき

2000
4/1号

No396

笑顔のあふれる町



子ども会綱ひき大会

優勝の行方は4ページをご覧ください。

ごあんない

- (P 2~7)まちのわだい
- (P 8~9)こんにちは保健婦です
- (P 10~11)みんなのひろば
- (P 12~15)くらしの情報



福岡県金田町



おめでとう

あなたの身近な出来事、地区の話題など、お寄せください。お待ちしております。連絡は、広報担当(☎22-0556)まで。

涙あれる最後の授業

金田中学校卒業式

「おとうさん、おかあさん、僕たち私たちを生んでくれてありがとう。」「こうして、素直に育ちました。」「3年間、お世話になった金田中学校と先生方、本当にありがとうございました。」こうして、第53回卒業生115人の、涙であふれた50分間に渡るすばらしい答辞で卒業式が終わりました。

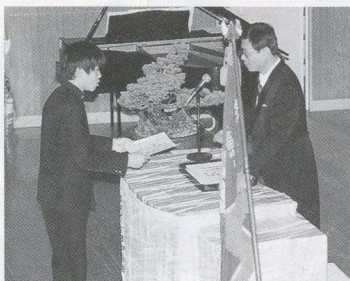
3年間の中学校生活の中で、多くのものを吸収し、感動があったに違いありません。

平成12年3月10日、この日を境に、大きく一步を踏み出した卒業生たち、4月からは新たに選択した自分のレールを歩みます。

次なる未知へ向けて、大きな道へ歩き出した卒業生115人は、この金田町のことを忘れることなく、感動を深く心に刻み、金田中学校を巣立ちました。



3年間をメモリアルにした答辞



お別れのお茶会

2月26日に宝見保育園で、4、5歳児の園児とその保護者のお茶会が、また、3月7日に金田保育園の卒園を控えた年長組の園児のお別れのお茶会が行なわれました。

いずれも、茶道を幼い頃より体験することにより、日本の伝統の礼儀を身につけ、将来役立つために企画し行なわれているということです。



総合学習

国際理解

金田小学校では、総合的な学習の一環として、国際理解、環境、福祉、健康など、今までの教科の枠を超えた学習の取り組みが行なわれています。

3月1日(6年生対象)と3月2日(1、2年生対象)に、国際理解教育の一環として、ウガンダ(アフリカ)より留学しているティモシーさん(6年生対象)、モンゴルより留学しているジリムトさん(1、2年生対象)が訪れ、学習が行なわれました。

ウガンダでは、主食がバナナ。また、モンゴルでは、羊の肉ということ。ウガンダの国立公園は、福岡県の大きさの公園があり、モンゴルでは、遊牧生活を送るので、馬が生活に欠かせないなど、お国柄の特色の紹介の話。歌や踊りでその国の特色を肌で感じ、言葉が通じなくても、世界共通音楽を同時に共有できる体験をしました。

教室から世界のことが分かり合える。世界とはどんなところなのか、この理解教育が将来において、語学を学び、通訳がしたいという人が育っていくような、グローバル(全世界的)な視野に立つ学習が行なわれました。



ジリムトさん



ティモシーさん

環境

時変わって、2月26日昼下がり、広報担当が小学校の前を通り過ぎてみると、小学校の壁に注目してしまいました。

下ごしらえをする小学校6年生の担任の先生方の話によると、学習のテーマは『海・空・山』、これは、環境の表現であり、下絵を描いているということ。

この下絵の彩りが、卒業を控えた6年生により2月29日に行なわれ、見事な壁絵として小学校の壁がキレイになりました。

見事によみがえった小学校の壁には、環境をテーマとして描かれていることを理解し、立ち止まって見ると、やさしい気持ちになれると思います。この試みが続けられると、小学校の壁は数年すると、誰が見ても楽しめる環境をテーマとしたすばらしい壁画として、遺産として後世まで残っていくかもしれません。



下ごしらえの時の様子



福祉

2月28日、29日に、金田駅裏の青葉会のハウスで、5年生のみなさんが、花の苗の移植と種まきが行なわれました。

学校から地域へ出ていき、金田町の人たちがどのようなことを行なっているのか。実際に目で確かめ、体で体験をしてみる。お年寄りの方たちが、日々、手おかけて花を育てていることを学びました。

土をつかんで鉢に入れ、ていねいに種をまくことの大切さ。芽が出て柔らかい苗を、ポットに移しかえるときの慎重さ。実際に体験することが、どんなのことなのか……。

そして、お年寄りとお話をしながら楽しく過ごし、お年寄りから学ぶことの大切さなど、肌で感じる学習が行なわれました。



青葉会のハウスにて



世界青年農業者大会へ 参加しました

世界最大の青年農業団体であるアメリカのファーマー・ビューロの呼びかけにより、アメリカのフロリダ州で、2月20日～27日にかけて、世界44カ国の農業青年1,400人が参加し、第1回世界青年農業者大会が行なわれ、神崎1の永富久三さんが、日本青年代表団の一員として参加しました。

この大会において日本青年部代表団は、米が余るなかで生産調整をしながら、輸入義務の米を受け入れている現状を説明し、農業の多面的機能には、世界中の農家が、共生・共存を目指すことの必要性を訴え、日本側の主張に理解を求めました。

この大会に参加した永富さんによると、「主張は行なったが、最終的には国と国の話し合いであり、決めるのは政治家。その政治家を選ぶのは本人であり地域の人である。」「政治に対し、無関心な日本人は、もっと政治に対して注目していく必要があり、本当にこの人ならという政治家を選ぶ必要がある。」ということ、改めて痛感したということです。

なぜなら、大会期間中に、フランス代表団から日本代表団に対し、「日本の選挙率が低いのはなぜか。また、政治を厳しく正す機関が甘いのではないか……。また、その機関があっても、正しく機能していない。」など、厳しい意見が述べられたということです。

帰国後、役場で大会について報告する永富さん



ヨイショ!!

子ども会綱引き大会

「ソォ〜レ!ソォ〜レ!」 町民会館に、応援の喊声があがると、綱を握りしめる子ども達の顔面が、真っ赤に染まります。

端で声援を送る保護者の方が酸欠になるのではないかと、思われるほど盛り上がりを見せた子ども会綱引き大会が、3月12日、20チームの参加で行なわれました。

早朝から、力を出しきった子ども達に、「勝敗はいいよ。良くがんばったから、焼き肉を食べに行こうか……。」「と、がんばりを称え、お腹を満たした人もいたとか、いないとか?。



結果は、次のとおりです。

- 1位…3区子ども会A
- 2位…平原子ども会A
- 3位…4区子ども会A



金田町2人目の100歳

東金田にお住まいの、森山トメさん(明治33年1月2日生まれ)が、金田町で2人目の100歳を祝って、3月14日に、長寿園で大島町長より祝い金、祝い状、花束贈呈が行なわれました。

森山さんは、今年2月より長寿園に入所し、元気な毎日をごされているということです。



文化講演会

「アイコン、ニコン、サンコン」と、冗談で始まったオスマン・サンコンさんによる文化講演会が、総合会館で、3月10日に行なわれました。

アフリカのギニア国出身のサンコンさんは、ギニアの大使として、昭和47年に23歳の若さで来日して以来、今日まで日本で色々な活動に取り組んでいます。

ギニアと日本の食生活や生活習慣の違いの話、父から教わった「分け合うこと」「譲り合うこと」「ゆるし合うこと」また、ギニアの諺として残る「一人の老人が死ぬことは、大きな図書館が焼けるのと同じ」「水を飲むならば、少し残して大地に返せ」「木を切ることは、自分の命を絶つこと」など、意味の深い講演が行なわれました。

昭和47年まで、日本にギニア大使館が無かったことにより、日本とギニア(アフリカ)とのかけ橋として、大使として来日したといいます。夢は大きく、アフリカに農業専門学校や病院を設立したい、ということでした。



地域への普及に向けて

昨年発足した金田町女性消防隊の隊員13人が、3月12日の日曜日の休日を利用し、役場3階会議室で、田川消防署金田分署の方の指導により、救急救命講習会を受講しました。

女性消防隊の高橋登美子隊長によると、「心肺蘇生法の講習を受けることにより、地域への普及活動に取り組んで行きたい。」と抱負を語っていました。



女性の就業に役立つパソコン講習会

福岡県女性就業援助センター筑豊支所では、パソコン技術講習会を次のとおり行ないます。

■講習期間/5月11日～6月15日の21日間
(おもに火・水・木・金曜日)

■受講時間/10時～16時の1日5時間

■受講料/無料(但し、教材費自己負担)

■会場/飯塚市女性センター「サンクス」

■申込み受付日/4月10日(月)・11日(日)の9時～17時まで

■申込み方法/電話による申込み

申込み・お問い合わせは

福岡県女性就業センター筑豊支所 ☎0948-23-4156

母子家庭の母、寡婦のみなさんへ

福岡県母子寡婦福祉連合会では、母子家庭の母および寡婦の自立促進のために次の講習会を行ないます。

■科目/パソコン・表計算講習会
(エクセル3級検定講座)

■期間/5月16日(火)～6月14日(水)の平日夜間22日間

■会場/飯塚市女性センター「サンクス」

■受講対象/母子家庭の母および寡婦

■人員/20人 ■託児/あり

■締め切り日/4月21日(金)

申込み・お問い合わせは

福岡県母子寡婦福祉連合会 ☎092-584-3922